

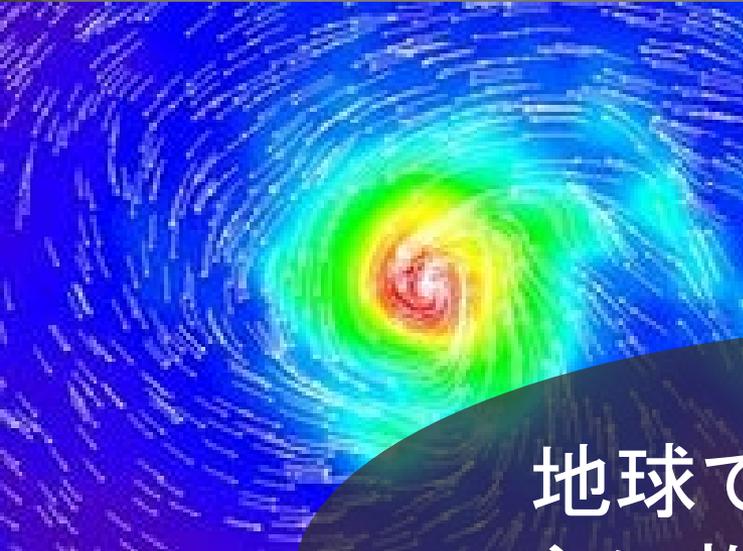
地球惑星科学系 ガイダンス

(2020年2月7日)

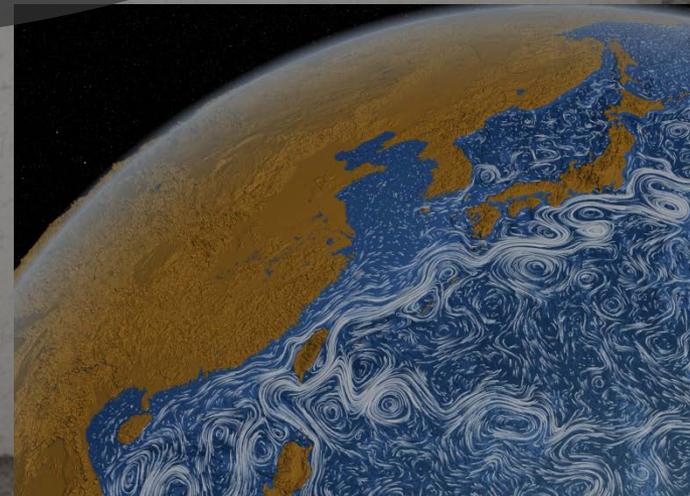
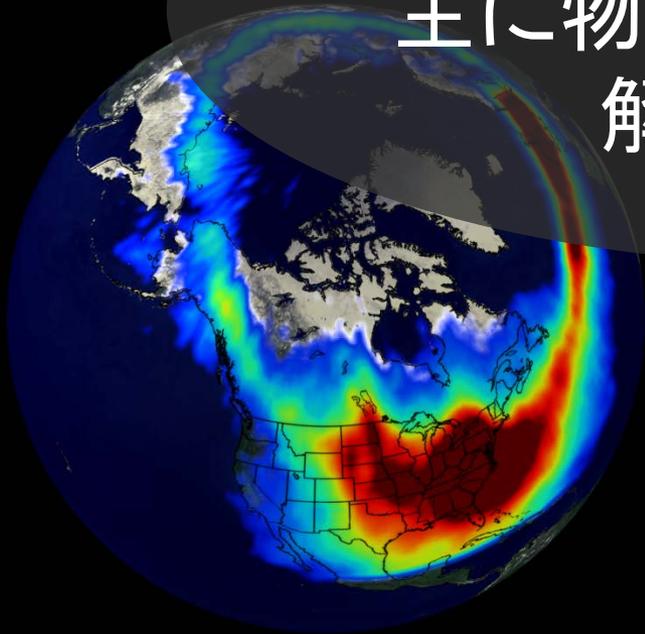
系登録定員 (39名)

- ◆ 地球物理学分野 24名
- ◆ 地質学鉱物学分野 15名

地球物理学 Geophysics



地球で起こる自然現象を
主に物理的手法を用いて
解明する学問



地球物理学

多様性(複雑), 非線形性, 不確実性...

現象・状態の理解(主にデータ解析)

モデル化, 数理解の理解, 予測

(主に理論, シミュレーション, データ同化)

地質学・鉱物学

(実用的な)数学

微積・線形・統計・

微分方程式・

フーリエ解析・

数値計算・

データ科学など

(基礎的な)物理

力学・電磁気・熱・

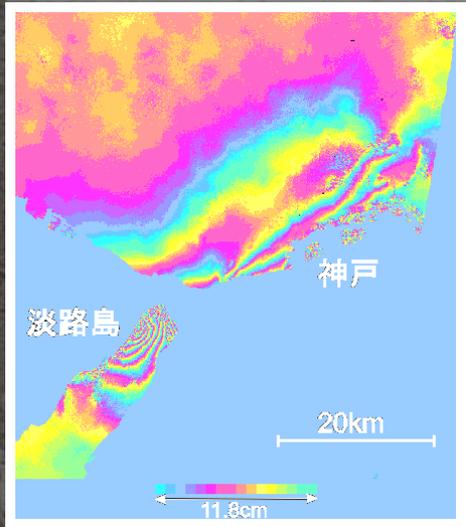
流体・弾性体

(統計・量子)など

化学

基礎的な物理や数学の素養が重要！
それが足りなくても知的好奇心・探求心
と持続的なやる気があれば成果を出せる
分野・テーマもある。

地球物理学分野



■地球物理学教室



太陽惑星系電磁気学
講座

(地球電磁気学分野)

大気圏物理学講座

(気象学分野)

(物理気候学分野)

水圏地球物理学講座

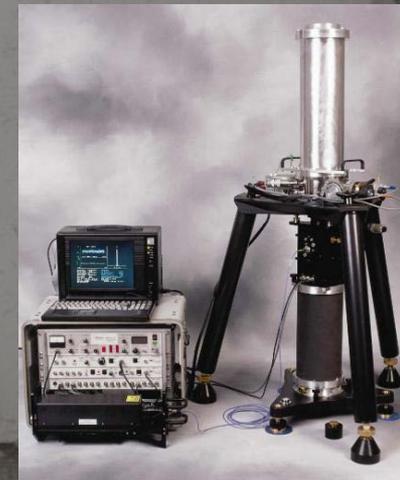
(海洋物理学分野)

固体地球物理学講座

(測地学分野)

(活構造学分野)

(地震学分野)



■附属地球熱学研究施設(別府・阿蘇・京都)

■附属地磁気世界資料解析センター

地球物理学分野担当授業

電磁気圏
流体圏
固体圏

3回生前期(基礎理論・手法Ⅱ)

電離気体電磁力学
地球流体力学
物理気候学
弾性体力学
地球物理学のためのデータ解析法
課題演習DA, DB

物理・数学

基礎 (理論×手法)

2回生(概論・基礎理論・手法Ⅰ)

地球物理学概論Ⅰ,Ⅱ
地球連続体力学
計算地球物理学・同演習
観測地球物理学・同演習A, B

3回生後期(専門Ⅰ)

地球電磁気学
気象学Ⅰ
海洋物理学Ⅰ
固体地球物理学A, B
地球物性物理学
課題演習DC, DD

4回生(専門Ⅱ)

太陽地球系物理学
気象学Ⅱ
海洋物理学Ⅱ
陸水学
測地学
活構造学
地震学
地球熱学
火山物理学
課題研究T1-T3

専門

地球物理学分野 課題演習

固体

流体・電磁気

(水曜3,4限)

(火曜3,4限)

固体, 流体・電磁気の基礎的事項に関して全学問分野を横断的に学ぶ.

DA

DB

前期

DC

DD

後期

固体, 流体・電磁気の各課題からテーマを1つ選択
テーマは基礎から専門応用まで5~10ほど提示される.

前後期ともに, 固体, 流体・電磁気の両方の課題演習を履修することを強く推奨しています.

今回は前期DA・DBの登録です.

後期DC・DDの登録希望調査・調整は6月下旬に行う予定.

地球物理学分野 課題研究

T1 電磁気圏

T2 大気圏・水圏

T3 固体圏

T1-T3から1課題を選び、さらに研究室・
指導教員を選び、通年で卒業研究を行う。

課題演習から課題演習へ

自らの適性を考えながら、専門分野を決めるシステム。

「緩やかな専門化」

Q.14

化学系を希望する方へ

受講を希望する実験を選択してください。

(複数選択：可 ただし、化学実験Bは化学実験Aを修

[前期]化学実験A

[後期]化学実験B

Q.15

生物科学系を希望する方へ

登録希望者数が定員を超える場合、入学年度に関わら

受講を希望する実習をQ.15～Q.19より一つずつ選択してください。(最大5科目選択：可)

地球物理学

DA, DBの両方の課題演習の履修を希望する場合には、どちらを第1希望にしてもその後の履修には影響はありません。

系登録定員を超えた場合の選考規準

- 地球物理学分野(24名)
 - (1) 単位の取得状況により決定する。
 - (2) 単位の取得状況では決定できない場合には、面接を行い決定する。

地球物理学分野の教育研究を知るために

地球物理学ホームページ

<http://www.kugi.kyoto-u.ac.jp/>

教育→学部カリキュラム

- 課題演習(過去のガイダンスや課題の資料)
- 課題研究(過去のガイダンス資料や研究課題)



今日の資料
もここにおく
予定

他に, 教員一覧, 研究室ホームページへのリンク等